

高松市中央図書館 YA NEWS BOOK

SPRING

READS



2020年4月号

令和 2 年の春がやってきました。春といえば桜を思い出す方も多いのではないのでしょうか。ピンクや白のイメージがある桜ですが、緑色の桜があるのはご存じでしょうか。御衣黄（ぎょいこう）という名前で、明るい緑色の花が咲きます。また、鬱黄（うこん）という淡い黄緑の桜もあります。桜を見かける機会があれば、探してみるのも楽しいと思います。ぜひ挑戦してみてください。

気になった方は参考・郷土コーナーでこの本をチェック！

『日本の桜』勝木 俊雄／著 学研 2009年3月 R4797／カツ

こころ

10代の悩み・心の問題に効く本

『わたしの主人公はわたし

他人の声に振りまわされない生き方』

細川 貂々／著

平凡社 2017年8月

4983／ホソ

小さい頃から「生きにくさ」を抱えて自分のことが大キライだった作者の細川貂々さん。私なんてどうせダメだと「ネガティブ思考クイーン」という魔女が自分に住みついている事に気づき、その魔女と向き合い自分の一部として受け入れられるようになるまでの道のりを書いた本。

これまでの思考や行動のクセを変えて、自己を認める考え方や他者との関わり方。

自分やまわりと向き合うためのヒントがきっと見つかるはず。

部活

部活についてや、部活を主にした物語

『放課後の厨房男子 [1] 男子校包丁部』

秋川 滝美／著

幻冬舎 2015年7月

9136／アキ

「厨房男子は一夜にしてならず」

運動部が主流の県立の男子高校で、料理好きの先輩が作った「包丁部」に入った陸上部の元エース、勝山大地は料理経験がない。膝の故障で自暴自棄になっている時に、巧みな話術で勧誘されて入部したのだ。

人数不足による廃部の危機を乗り越えるため、あの手この手で部員を確保しようとする部員たち。部はどうなる？ 包丁で流血騒ぎを起こすほど料理下手な大地の成長もお楽しみください。

進路

進路に関するデータや実用書、物語など

『ハケンアニメ！』

辻村 深月／著

マガジンハウス 2014年8月

9136／ツシ

テレビアニメ・ワンクール12回放送を作るのに、監督、プロデューサー、演出、脚本、原画、絵コンテ、背景、CG、声優など多くの人に関わる。一番人の心を打つ、記憶や時代に名を残す作品にするため、それぞれが力を尽くして作りあげていく。0から1にするのは大変なことなんだ。

進路の本として紹介するには、アニメ業界はブラックかもしれない。

好きなものにはあらがえない仕事ぶりが描かれている。

知識

様々な知識に関する本

『憲法と君たち』

佐藤 功／著

時事通信社 2016年10月

323／サト

そもそも憲法ってなんだろう

この本は、第二次世界大戦、太平洋戦争で敗戦した10年後の1955年に書かれた『憲法と君たち』の復刻で、著者の佐藤功は、憲法制定作業に携わった人だ。

この本には、憲法についてだけでなく、民主主義や天皇制について、政党と代議士、多数決のことなどが、学校や家庭、身のまわりの事で例えて、わかりやすく書かれている。

現政権では「憲法改正」を主張しているが、憲法について考えるのに良い一冊だ。

ノンフィクション

ノンフィクション・エッセーなど

『マーヤの自分改造計画 1950年代の
マニュアルで人気者になれる?』

マーヤ・ヴァン・ウァーグネン／著

紀伊國屋書店 2017年4月

3763/マヤ

いつの時代も、人気者の条件は同じ？

目立たない中学生マーヤは、パパの書齋で1冊の本を見つけます。タイトルは『ベティ・コーネルのティーンのための人気者ガイドブック』……ただし1951年の！ 興味をもったマーヤはファッション、友達との付き合いなど、すべてベティ・コーネルの言うとおりにするという“実験”を始めます。

自分に自信のないマーヤが勇気を出して行動する姿に励まされ、勇気をもらえる1冊です。

物語

YA世代におすすめの物語

『本を守ろうとする猫の話』

夏川 草介／著

小学館 2017年2月

9136／ナツ

本と人にとって大切なものとは？

幼い頃から祖父と二人で暮らしていた林太郎は、祖父を突然亡くしてからずっと家に引きこもっていました。彼に遺されたのは、祖父が営んでいた「夏木書店」。ある日そこに現れたのは、人間の言葉を話す一匹の猫でした。「本を助けるために力を貸してほしい」という猫と共に、林太郎は不思議な四つの迷宮を巡る旅へと出発します…。ファンタジー仕立てで読み易く、「本と人にとって大切なものとは何か」を教えてくれる作品です。

“YOUNG ADULT”とは13～19歳の世代の人たちをさし、「若いおとな」という意味です。

高松市中央図書館では、YA（ワイエー）と呼んで、図書館員がこの世代の皆様にお勧めする本のリストをホームページに掲載したり、児童コーナーに特集コーナーを作ったりしています。色々なジャンルの本をご用意していますので、是非足を運んでみてください。

準備号を経て、正式に発行したこのREADS第1号とともに、皆様と本との出会いのお手伝いができればうれしく思います。

【お問合せ】高松市中央図書館

高松市昭和町一丁目2-20

電話（087）861-4501

高松市図書館ホームページ

<https://www.library.city.takamatsu.kagawa.jp/>

【SPRING READS（第1号）】

令和2年4月1日発行

高松市中央図書館YA選書会

